明日へ向かって

第３学年　学年だより
令和５年　４月２１日
第　７　号

今でしょ？　今ですよ！　今がいいんです！！

「ちょっと早すぎるんじゃないの？？？　今から進路進路と煽らないでよ～！　部活を引退したらやるからさあ！」「ちょっとガツガツしすぎじゃない？」なんて思っている人もいるでしょう。……いや、いないでしょうか。いないといいのですが。

わりと３年生のみなさんは、「現実を見る」ということが上手にできる人が多い印象があります。だから、進路の話が本格的になってきても、きちんとそれを受け止めて、少しずつではありますが準備を始めている雰囲気が漂ってきました。この学年の長所です。

四月は学校がリセットされる時

学校というところは、新学期はとてもバタバタするところなのです。「よーし、四月になったから三年生だ、やるぞ！」と思っても、中学も高校も進路のことを中心に生活を回すわけにはいきません。

ホームページなども、前年度の進学実績や部活の成績、今年度の学校案内などが中心で、実際にその年の「基準」や入試要項の中身が出るのは、一学期も中・下旬になります。正直なところ、**四月は進路に関するフレッシュな情報が入らない月**でもあります。そんなときにじたばたしても無意味。

「おらー！　四月だー！　三年生だー！　受験だー！」と目の色変えても、空回りするだけです。むしろ、四月は一度、落ち着くべき時です。目標を冷静に見つめ直して、必要に応じて軌道修正したり、二年生の学年末考査の取り組みをしっかり見直して、これまでの定期考査勉強の仕方を進化させたりするべきなのです。そういう意味でも、今はきちっと今後と向き合って、ぬかりのない準備を進めるのです。

では、受験のための準備とはなにか

ズバリ！**受験に対する基本的な考え方を押さえておくこと**です。

中学校は、２年間の間、あなたという人物を様々な角度から見てきました。学業はもちろん、普段の学校生活の様子や、行事等への取り組み度、また性格、そして中学校に入学して今まで、どのような努力をし（あるいはせず）、どのように伸びて来たか。ですから、それに見合った学校、それに見合った進路をアドバイスすることができます。

しかし、合格させるのは高校です。**高校は自分で選ばなければなりません**。中学校は高校の校風や学力のレベル、立地などから、参考意見を言うことはできますが、それだって、あなたが実際に見学して、感じてきたその印象と違うかもしれません。中学が高校を斡旋するわけにはいきません。

また、新たな進路に向かって取り組むには、**なにもかも自分から動く必要があります**。「〇〇高校に行きたいでーす！」と言うだけで、自動的に受験まで行けるわけではありません。私立高校なら願書をもらってこなきゃいけないし、中学校に書いてもらう書類は「書いてください」と言わなきゃいけないし、自分で書くものは書かなきゃいけないし……。

> 高校に入るのはあなたです。
> そのために必要な事をやるのは、あなたでありご家庭です。
> 高校に入学させるかさせないかを決めるのは高校です。

この、受験に対する基本的な考え方を押さえておくことが重要なのです。「当たり前じゃあないか」と言うなかれ。全部、中学校がやってくれると勘違いしている節があるのが実際のところです。

自分がやらなきゃ、学校はなにも動けない

後日説明しますが、「◎月■■日までに進路希望調査を出してください」というのも、中学側の都合ではありません。それまでに御家庭で話し合ってもらわないと、物理的にいろいろな手続きや取り組みが間に合わないからです。間に合わずに困るのはあなたです。

「調査書作成願」を出すのも、本来ならば中学校が「出しなさい」というべきことではありません。受験をするのに「調査書」を中学に書いてもらわなければならない。だから「書いてください」と、あなたが中学に依頼するのが本筋です。その場合、多くの部分を担任の先生が作成します。

担任の先生は、クラス全員分、全部の受験校分の調査書を作らなければなりませんから、自分の都合だけで考えてもだめです。明日必要な書類を今日書いてくださいというのは不可能なことです。このような、受験に関する基本的な考え方を押さえるのは「今」です。

もう、進路の一連の動きに突入している

進路希望調査を出したとき、毎年あるのが「土日、お母さんが忙しくて、まだ話してません。だから出せません」「昨日、家族がそろわなくて、ハンコもらえてません」といった類のことです。なぜこのようなことが起こるか。「今」をおそろかにするからです。

ご家族はあなたの親権者であり、あなたの進路のことをあなたの次に、いえ、あなた以上に気にかけているのです。話し合いがないのはありえません。忘れてはならないのは、ご家族はあなたの新たな進路先のスポンサーであるということです。お金を出してもらって、義務でもない教育を受けさせてくれると言ってくれているのですから、相談することは当然です。そして、それを踏まえて四月を迎え、進路選択に向かうのです。３年生の四月の今、こうした一連の流れの中に、まさに突入したと言えるでしょう。

■進路に対する基本的な考え方を押さえておく

１　合否は高校で決める、行く高校は自分が決める、中学はアドバイス
２　必要な手続きは本人と家庭が確認、チェック　中学に依頼すべきことは依頼する
３　中学をスルーして進路事務は成り立たない　必ず相談
４　まずは担任の先生と綿密にコンタクトを取る。期日に余裕をもって依頼する

学年だよりのタイトルが決まりました。今年度の学年だよりは、これまでの学年だよりとは異なり、進路選択に関する情報もお知らせするということで、それも踏まえた案を募集しました。厳選なる（？）審査の結果、１組　　の案である「明日へ向かって」になりました。中学校生活ラスト１年、後ろを振り返らず、常に前を見て頑張っていこうとの思いが込められています。

↑離任された先生方へ感謝の手紙を書きました。

１８日（火）に全国学力・学習状況調査を実施しました。今年度は国語、数学、英語（聞くこと、読むこと、書くこと）、生徒質問紙に加えて英語（話すこと）の調査でした。昨年度に事前検証を行ったこともあり、話すこと調査は比較的スムーズに行えました。インターネット環境の不調が多少ありましたが、出席者は全員が無事に提出することができました。

今回の調査はこれまでの学習内容を振り返るうえでの良いきっかけになったことと思います。せっかくの機会なので、ぜひ復習をしてこれからの学習に役立ててください。解答例はこちらから確認することができます。話すこと調査については、令和５年５月26日（金）17時に公開される予定です。

Asuka High School

授業公開　４月29日（土）

３・４時限目　（10:45 ～ 11:35　11:45 ～ 12:35）

※本校HPより事前のご予約をお願いします。

※一足制のため上履き等は不要です。

今後の予定

学校説明会

10月22日（日）、11月23日（木）

① 13:25 受付開始 13:45 説明後校内見学個別相談

② 13:45 受付開始 校内見学個別相談

③ 15:10 全体会

※全体会では教育課程・進路指導・生活指導・国際交流活動・入学者選抜概要についての説明を行います

◆アクセス

○東京メトロ南北線王子神谷駅　徒歩７分　○京浜東北線王子駅　徒歩１４分

○都電王子駅前　徒歩１６分

○（新宿西口・上板橋駅・環七西新井大師方面より）王子４丁目バス停下車　徒歩３分

○（日暮里舎人ライナー江北駅より王40系統王子方面行きバス）豊島４丁目下車徒歩８分

◎ハローワーク王子 および 王子郵便局を目標にお越し下さい。

◆お問い合わせ

総務国際交流部　TEL 03-3913-5071 〒114-8561 東京都北区王子6-8-8 FAX 03-3911-9049

全日制
普通科

都立飛鳥高校

http://www.asuka-h.metro.tokyo.jp/

ぜひご覧ください。上記のHPより申込受付中